

NSW

Humanware By Systemware

第59期

中間報告書

NSW 株式会社

〈証券コード：9739〉

Top Message

ごあいさつ

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素から格別のご配慮を賜り、厚くお礼申し上げます。

第59期中間連結会計期間の業績についてご報告申し上げます。

当中間連結会計期間におけるわが国の経済は、歴史的な円安を背景とした企業収益の改善や設備投資の増加等企業活動の持ち直し、雇用情勢・個人消費の改善の兆しなど、引き続き緩やかな回復の動きが見られる一方、物価上昇による消費マインドの停滞、日米等の金融施策と為替相場の動向、長期化するウクライナ・ロシア紛争や緊迫した状況が続く中東情勢など、景気の下振れ要素も十分注視していく必要があります。

情報サービス産業においては、AI、クラウドサービス、セキュリティ分野をはじめとする企業のデジタル関連投資が底堅く推移しました。

このような状況のなか、当社グループは製造業向け開発やオートモーティブ・モビリティ分野が好調なほか、IoTシステム構築関連やクラウド・インフラサービスも堅調に推移し、売上高242億8百万円、営業利益27億56百万円と、これまでの上半期の業績を小幅ながらも更新しました。

配当につきましては配当性向30%を当面の目安としており、年間配当金は1株あたり85円を予定し、中間配当金は計画通り40円といたしました。

当社グループは、引き続きお客様とのビジネスの共創に努め、成長と変革を加速するとともに、デジタル技術を通じて持続可能な社会の実現に向け取り組んでまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも一層のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



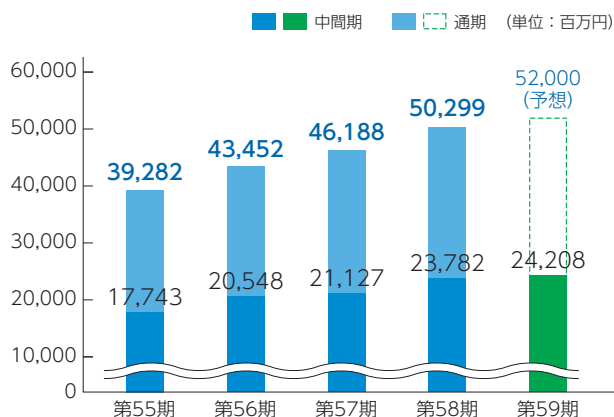
代表取締役執行役員社長
多田 尚二

2024年12月

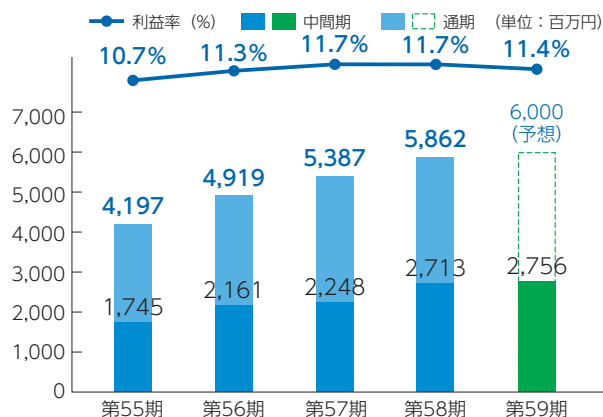
Financial Highlights

連結業績ハイライト

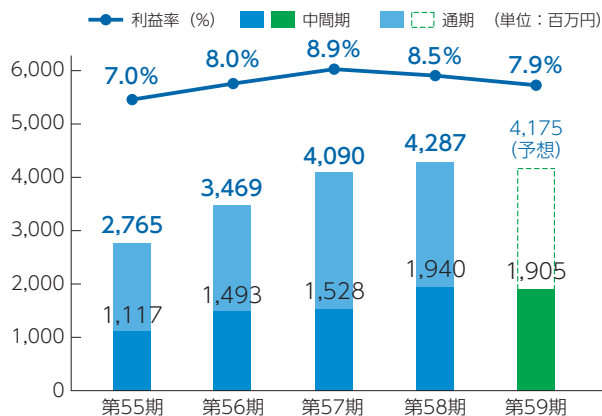
■ 売上高 **242億8百万円**



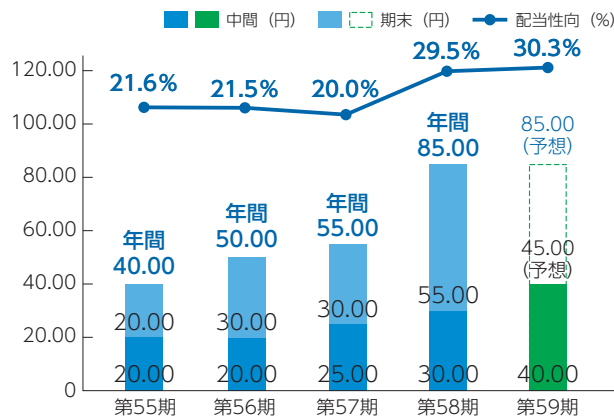
■ 営業利益 **27億56百万円**



■ 親会社株主に帰属する
中間 (当期) 純利益 **19億5百万円**



■ 1株配当金と
配当性向 (期末) **1株配当金 40円**



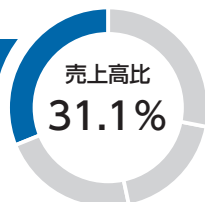
Business Segment Overview

連結セグメント別概況

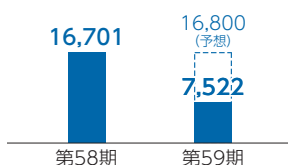
エンタープライズソリューション

売上高 75億22百万円

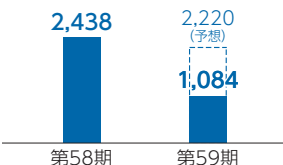
営業利益 10億84百万円



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

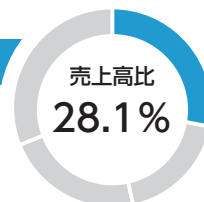


売上高につきましては、製造業向けのERPおよび関連システム開発が好調に推移したものの、前期好調だったシステム機器販売の反動減により減収となりました。利益につきましては、高収益案件の増加に伴い増益となりました。これらの結果、受注高は7,923百万円（前年同期比2.7%減）、売上高は7,522百万円（同8.1%減）、営業利益は1,084百万円（同2.3%増）となりました。

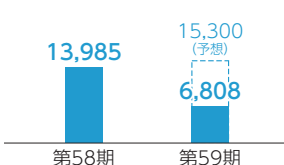
サービスソリューション

売上高 68億8百万円

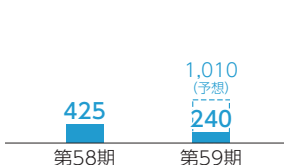
営業利益 2億40百万円



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

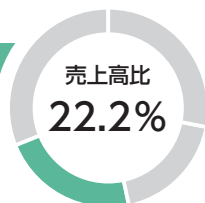


売上高につきましては、IoTシステム構築関連やクラウド・インフラサービスが増加し増収となりました。利益につきましては、不採算案件の影響があったものの、他案件のプロジェクト管理の強化により増益となりました。これらの結果、受注高は6,878百万円（前年同期比7.1%増）、売上高は6,808百万円（同12.0%増）、営業利益は240百万円（同11.1%増）となりました。

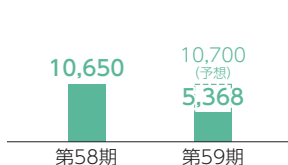
エンベデッドソリューション

売上高 53億68百万円

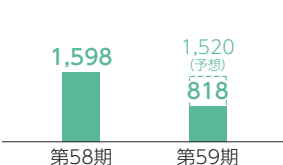
営業利益 8億18百万円



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)

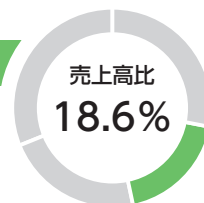


売上高につきましては、オートモーティブ・モビリティ分野が好調に推移し増収となりました。利益につきましては、売上総利益の増加により増益となりました。これらの結果、受注高は5,426百万円（前年同期比1.4%増）、売上高は5,368百万円（同6.0%増）、営業利益は818百万円（同11.7%増）となりました。

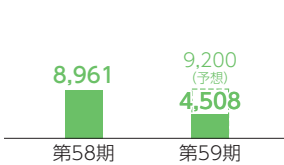
デバイスソリューション

売上高 45億8百万円

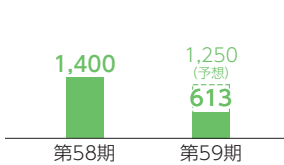
営業利益 6億13百万円



売上高 (百万円)



営業利益 (百万円)



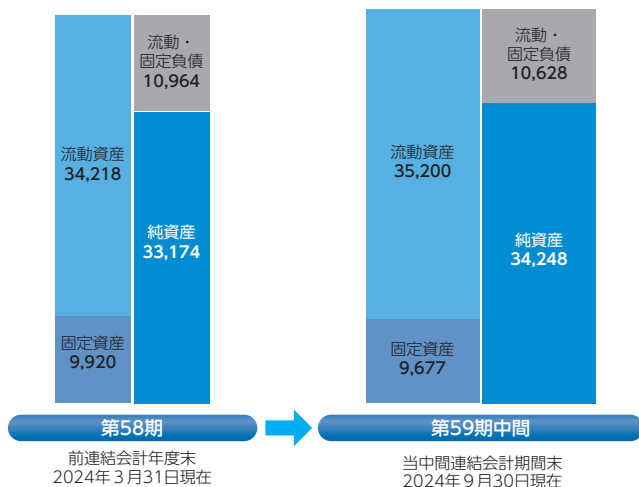
売上高につきましては、一部顧客のIT投資抑制などが影響し横ばいで推移しました。利益につきましては、海外展開・海外活用に向けた活動強化などにより減益となりました。これらの結果、受注高は4,598百万円（前年同期比0.6%増）、売上高は4,508百万円（同1.2%増）、営業利益は613百万円（同12.9%減）となりました。

Financial Statements

連結財務概況

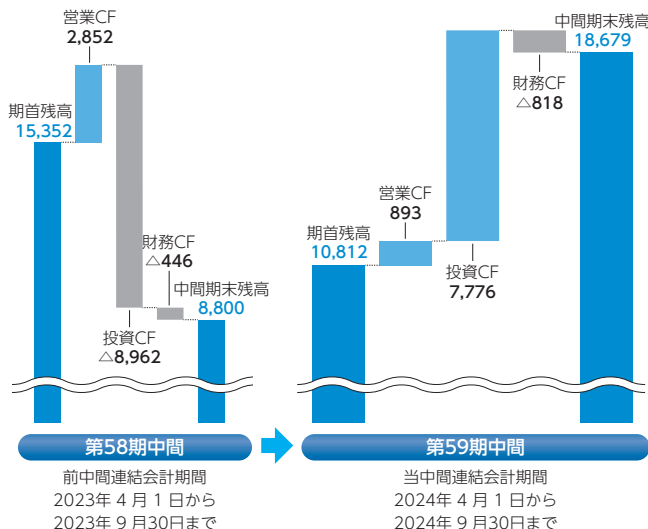
■ 中間連結貸借対照表の概要

(単位：百万円)



■ 中間連結キャッシュ・フロー計算書の概要

(単位：百万円)



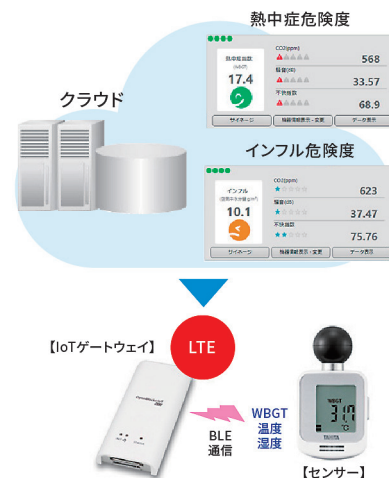
Sustainability

サステナビリティへの取り組み

当社が提供する幅広いITサービスやデジタルソリューションは、お客様の業務の生産性向上や効率化に加えオフィスや現場の環境作りを通じ、サステナブルな社会に向けたサポートをしています。

例えば、「Around Now!」 「Around Now! Mobile」 は、センサーを設置し離れた場所から熱中症や感染症等の対策ができるサービスで、夏季はアラートメールで活動する環境の危険度を通知して熱中症を予防、空気が乾燥する冬季はウイルス増殖を防ぐ最適な温度・湿度を設定することで室内環境を管理し、感染を防止します。

今後も、NSWは企業理念「Humanware By Systemware」のもと、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に努めてまいります。



■ 台湾企業とのアライアンス強化

■ ロボット開発分野の協業に関する覚書を締結

当社は、台湾の工業技術研究院（ITRI）および東京大学農学生命科学研究科の海津裕准教授と、スマートアグリ（スマート農業）向けロボット開発分野の協業に関する覚書を締結しました。

ハードウェア・農業分野（ITRI・東京大学）とソフトウェア（NSW）の知見を連携することで、より効率的で効果的なロボット開発の取り組みを進めてまいります。



東京大学との調印式の様子
(2024年10月8日)



ITRIとの調印式の様子
(2024年10月9日)

■ 日台サイバーセキュリティ企業と協業の検討を開始

当社は、情報セキュリティサービス「Keyper」を提供するKeyXentic社（以下、KX）およびKX日本総代理店のNet Peace社と、多要素認証やパスワードレス化によるセキュリティ向上に向けた協業の検討を開始しました。

当社が保有する半導体の開発環境および半導体デザインサービスを活用しセキュリティや認証機能を強化することで、ユーザーの安全性を高めたサービスの構築や提案につなげてまいります。

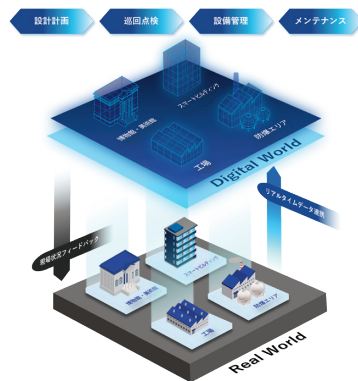


■ デジタルツインサービス「ZeugMa」を提供開始

デジタルツイン技術を活用した、施設管理・設備巡回業務の効率化を図るサービス「ZeugMa（ジークマ）」の提供を開始しました。

「ZeugMa」は仮想空間内に現実空間の環境を再現するデジタルツインという技術を活用し、施設の状況や環境に関するデータのリアルタイム可視化連携を目的としたサービスです。当社が提供する「LiLz Gauge」や「RealWear」などと連携し、異なる情報をシームレスに収集・統合することで、施設設備の一元管理を3D上で確認できます。

製造業界や災害対応時では、現地へ往訪せずとも遠隔地からリアルタイムで状況を把握し対処するためのIoT技術や3Dデータへの需要が高まっており、「ZeugMa」はこのようなニーズに対応してまいります。



Corporate data

会社情報

会社の概況

(2024年9月30日現在)

商号	NSW株式会社
設立	1966年(昭和41年)8月3日
本社	東京都渋谷区桜丘町31番11号
資本金	55億円
代表取締役	執行役員社長 多田 尚二
従業員数	2,544名(連結)
取引銀行	株式会社三菱UFJ銀行 株式会社みずほ銀行 株式会社三井住友銀行 三井住友信託銀行株式会社 株式会社山梨中央銀行
主たる 関係会社	NSS株式会社 恩斯達信息技术(北京)有限公司(NSW China Co.,Ltd.) NSA株式会社
事業拠点	渋谷 山梨 名古屋 大阪 広島 福岡 北九州 台湾

役員構成

(2024年9月30日現在)

代表取締役 執行役員社長	多田 尚二	執行役員常務	我妻 誠
取締役 執行役員副社長	阿部 徳之	執行役員常務	山田 武史
取締役 執行役員副社長	須賀 讓	執行役員	岡部 晴美
取締役 執行役員専務	竹村 大助	執行役員	上野 伸二
取締役(社外)	下川原郁子	執行役員	福田 拓造
取締役 監査等委員	佐野 滋	執行役員	大島 幸司
取締役 監査等委員(社外)	増井 正行	執行役員	市川 照明
取締役 監査等委員(社外)	石井 尚子	執行役員	黒木 和昭
取締役 監査等委員(社外)	山口 美幸	執行役員	一瀬 一也
		執行役員	佐藤 正芳
		執行役員	三塚 信也
		執行役員	下釜 裕治
		執行役員	南 修
		執行役員	道下 知也

株式の状況

(2024年9月30日現在)

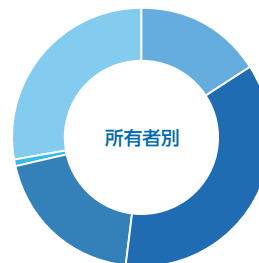
発行可能株式総数	45,000,000株
発行済株式の総数	14,900,000株
株主数	3,445名

大株主(上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
(株)タダ・コーポレーション	5,000	33.55
多田 修人	1,537	10.31
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,160	7.78
BNP PARIBAS LUXEMBOURG/2S/JASDEC/FIM/ LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	584	3.92
(株)日本カストディ銀行(信託口)	548	3.67
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OM02 505002	505	3.39
野村信託銀行(株)(投信口)	386	2.59
ヨシダ トモヒロ	322	2.16
光通(株)	319	2.14
多田 尚二	317	2.13

※ 持株比率は自己株式(586株)を控除して計算しております。

株式分布状況(株式数構成比)



金融機関	2,397,900株 (16.09%)
その他国内法人	5,343,831株 (35.86%)
外国人	2,925,618株 (19.64%)
証券会社	112,108株 (0.75%)
個人・その他	4,120,543株 (27.66%)

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月下旬開催
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人	三井住友信託銀行株式会社
特別口座の管理機関	三井住友信託銀行株式会社 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号
郵送物送付先	三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
電話照会先	☎0120-782-031
公告掲載URL	https://www.nsw.co.jp/ir/koukoku.html (ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときには、日本経済新聞に公告いたします。)

株式に関するお問い合わせ

- 配当金の受領方法・振込先の変更
- 届出住所・姓名などの変更
- 単元未満株式の買取・買増請求

口座を開設されている証券会社までお問い合わせください。

- 特別口座に関する照会
- 郵送物の発送と返戻に関する照会
- 支払期間経過後の配当金に関する照会
- その他株式事務に関する一般的な照会

三井住友信託銀行までお問い合わせください。

株式に関するQ&A



株主総会資料の電子提供制度のお知らせ

会社法改正により、株主総会資料の電子提供制度が開始されました。これに伴い、株主総会資料（招集ご通知）が原則ウェブでのご提供となります。株主の皆さまにおかれましては、会社から郵送する通知書面にてご案内するウェブサイトへアクセスすることで、株主総会資料をご確認いただくことができます。

一方、インターネットのご利用が困難な株主様は、株主総会の基準日（3月末日）までに書面交付請求をすることにより、株主総会資料を書面で受けることができます。お取引の証券会社または株主名簿管理人である三井住友信託銀行へお申し出ください。

三井住友信託銀行 証券代行部
お問い合わせ先 電話：0120-533-600 受付時間：9：00～17：00（土・日・祝日および12/31～1/3を除く）
<https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/kaisyahou>

